

紫香楽宮（天平一四年～一七年）に関連するものと判断する」とがで
ある。

8 木簡の釈文・内容

(1)

「▽上総国山辺郡□□□□□」

270×34×6 031*

＝天平十六年十月▽

ほぼ完形で出土したが、墨痕がほとんど残らず、かすかに浮き上
がった文字痕をもとに釈読した。

木簡の釈読にあたっては、奈良文化財研究所の渡辺晃宏氏・吉川
聰氏からご教示を得た。

(畠中英一)

「皇后宮職」「金光明寺」と書かれた木簡や、参河・遠江・
駿河・伊豆・近江・越前などの諸国の荷札木簡が出土し、紫香
楽宮跡であることが確実になつた滋賀県信楽町宮町遺跡出土の
木簡の概報が刊行された。今回は宮町遺跡で初めて木簡が出土
した一九八六年度の第四次調査から、一九九七年度の第二二次
調査出土分までを収録する。既に『木簡研究』などで報告済み
の木簡についても、今回再度釈読を行い、最新の成果を収録す
る。今後も続刊の予定。

A4版 三二頁 写真図版三葉 一九九九年一二月刊行
価格一〇〇〇円（送料込み）

問い合わせ先

信楽町教育委員会宮町遺跡調査事務所 鈴木良章氏
電話 〇七四八一八二一九一九（FAX兼用）

紫香楽宮跡調査委員会編 信楽町教育委員会発行
『宮町遺跡出土木簡概報』一

